

## 岩手県金融経済概況（平成 28 年 7～8 月）

### 1. 概 況

県内経済は、生産面に新興国経済の減速に伴う影響などがみられるものの、基調的には緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。設備投資は、増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 28 年 7、8 月）は、7 月に雑貨、身の回り品が好調であったことから 2 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+0.9%）ものの、8 月は衣料品、身の回り品が不調となり再び前年を下回った（同△7.6%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 28 年 7 月）も 3 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+1.0%）。

新車登録・届出台数（登録車+軽；平成 28 年 7、8 月）は、軽自動車の不振を主因に 4 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 7 月：△2.5%、8 月：△0.6%）。

#### (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 28 年 7、8 月）は、2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 7 月：△26.4%、8 月：△47.2%）。

新設住宅着工戸数（平成 28 年 6、7 月）は、6 月は 2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△3.9%）ものの、7 月は前年を上回った（同+11.2%）。

—— 7月の動きをみると、主力の持家が3ヵ月連続で前年を上回った（前年比+11.0%）ほか、貸家が7ヵ月振りに前年を上回った（同+9.2%）。また、分譲も2ヵ月振りに前年を上回った（同+50.0%）。

民間設備投資（短観ベース；平成28年度計画）は、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

—— 平成28年度（計画）は、幅広い業種で新規出店等の能増投資、更新投資などが計画されており、全産業ベースで前年度を上回る（前年度比+17.4%）計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成28年6月）は、高水準ながら8ヵ月連続で前年を下回った（前年比△6.7%）。

### 3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成28年6月）は、2ヵ月連続で前月を下回った（前月比△3.3%）。

—— 6月の動向を主要業種別にみると、化学、生産用機械、輸送機械が低下し、電気機械、プラスチック製品、鉱業が上昇した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6月は5四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比+2.9%）。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成28年6、7月）は、ともに1.32倍となった。

—— 平成25年5月以降39ヵ月連続で1.00倍以上を記録。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査）は、前年を上回った（前年比平成28年6、7月ともに+0.2%；平成24年3月以降53ヵ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成28年6月）は、名目賃金指数（前年比+3.6%）、常用雇用指数（同+0.6%）ともに前年を上回ったことから、2ヵ月振りに前年を上回った（同+4.2%）。

### 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 28 年 6、7 月）は、前年を下回った（前年比：6 月  $\Delta 0.5\%$ 、7 月  $\Delta 0.6\%$ ；平成 27 年 4 月以降 16 ヶ月連続で前年割れ）。

## 6. 企業倒産

企業倒産（平成 28 年 7、8 月）は、低水準を維持している（7 月：3 件、2.0 億円＜前年同月：1 件、0.1 億円＞、8 月：4 件、3.0 億円＜同 5 件、41.7 億円＞）。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 28 年 6、7 月）は、6 月はともに前年を下回ったものの、7 月はともに前年を上回った。また、貸出約定平均金利は、引き続き低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>